



## 🗨️ オムツの話2

昨年(2022年)の12月議会で保護者と保育士の方達の負担を少しでも減らす為に「市立の保育園で**保護者のオムツ持ち帰り**をしなくても済むようにできないでしょうか。」という質問をしました。その時の答弁は「実施に向けて検討してまいりたいと存じます。」だったのですが、この3月議会を前に「市立保育園でのオムツ処理につきましては、経費等を含め検討を行った結果、**令和5年度から実施すること**といたしました。という回答が来たのです。

このオムツ問題の質問は、保護者の方のメールがきっかけで行いました。まさか、こんなに早く結果が出るとは夢にも思っていませんでしたのでビックリしています。

昨年(2022年)の6月議会で**公明党の伊藤智砂子**さんが最初にその質問をしてくれました。

市民の方の声が彼方此方から聴こえて来て、我々がその思いを代弁する・・・それが市政を動かす力になるのだと思います。

近隣の市がやってることは勿論、やってないから先にやる!

近隣市より一歩先に行くことが、大切なことです。担当課の職員の方達も市長もそれを理解した上での決断だったと思います。

子育て中のお母さん達は勿論、保育士さん達、そして、これから子育てする方達の笑顔が見えてきます。

令和5年度は僕が過去に一般質問したことがかなり多く実現しそうです。「**教職員の駐車料金の無料化**」「町内会以外の団体も集会所の予約が3か月前に可能に」「総合運動公園の改修、第三種公認競技場に」「**ジュニアアスポート授業の復活**」

そして、保育園のオムツ手ぶらでOK!

こんなことは初めてのことで、ビックリしています!**傑市長の決断に拍手!** 🗨️

2023年3月15日発行



2月の川掃除には平松大佑と沢山の子も達が参加してくれました。嬉しかったですね。**ゴミを拾う子は絶対にゴミを捨てない大人になっていくから。みんなの笑顔が素敵。** 🗨️

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
1954年2月11日東京  
青山生まれの69歳。

中学1年1学期は  
バスケット部2学期は  
バレー部、3学期は  
テニス部に所属。

そのテニスで新宿区大会優勝。**大好きな女の子の一言**で勉強もするようになる。

都立石神井高校でも、勉強は全くせずテニスしかやらない人生を歩み、成績は急降下。学年で下から6番目に。北海道大学3年の冬のある日、朝日新聞を読み教師になることを決意。その1年半後、**新任で新座五中の3年4組の担任**となる。

五中・六中ではテニス部の顧問となり子ども達は関東・全国大会で大活躍する。

その後、石神で「たかやん塾」をはじめ、今に至る。趣味は中高生と一緒に勉強すること、川掃除、駅立ち、テニス、筋トレ。

写真は**黒目川に魚道**を作るように県に掛け合い実現させた平松大佑県議。 🗨️

## 👤 104兆円

2020年度からの3年間でコロナ対策に充てられた国家予算はおよそ**104兆円**。東日本大震災の復興予算が**10年間で約32兆円**ですから、その異常さがわかります。それだけの巨費をかけた成果が全くないのだから酷い話です。

第7波では日本の新規感染者は世界最高だったのですから。(コロナ利権の真相、宝島新書から……)

自公政権が購入した新型コロナワクチンのうち、廃棄する可能性のあるワクチンの金額が1兆2200億円って知ってましたか？自公政権は、ファイザー社をはじめとした全4社からワクチンを購入し、その**総額は2兆3356億円**(8.8億回分)に上ります。しかし、実際に使用したのは、約7000億円分です。

ワクチンの有効期限を考えると、どれだけ頑張ってもあと1.43億回しか接種できません。つまり、**1兆2200億円分のワクチンが残り廃棄される**のです。

これは2022年8月16日時点の話です。(出典：コロナと金 単年度77兆円巨額予算の行方)これで得をしたのは、もちろん製薬企業です。

要するに大量に買ったはいいけど、感染者は増えるわ、死ぬわ、後遺症は酷いわで、接種する人が激減してきたんです。でも、廃棄はしたくないから必死にコマーシャルしてるんですね。

怪しいワクチンを大量に購入して、そのツケは国民に負担させる。半分以上廃棄して酷すぎるでしょ。**経済面でも健康面でも負担するのは国民**ですから……。せめて自分と自分の大切な人の健康はワクチンから守らないと。

欧米ではワクチン接種を中止する国が多くなってきたことにも注目しなくてははいけません。余りにも副反応の被害が多いことによるものです。**mRNAワクチンは今も治験段階**なのです。TVのコマーシャルに騙されないように！！👤

## 👤 先生の日7

最近では家庭訪問が無いようですが……昔々のお話です。「タカヤン、何が好き？」と古都。『うどんかな……』『ふーん』次の日、家庭訪問に行ったらうどんが出るわ出るわ。5杯は食べたかな……。「タカヤン、何が好き？」と弘樹。『アップルパイ！』『分かった』次の日の訪問はアップルパイだらけで参った。『タカヤン、最後に来てね。』とところ。『OK』ところの家にいくと、お父さんが待っていて、朝まで飲んでしまった。「タカヤン、7時過ぎに来てね」と隆。『あいよ。』7時過ぎに行くと「さ、お風呂に入って！』『はい？』『いいから入りなさい！』とお母さん。『……』取り合えずお風呂に入って出ていくとおじさん3人が待っていて「待ってたよ～！」と徹夜で麻雀なんてこともあったっけ……

**昔の家庭訪問は滅茶苦茶**でした。でも、子ども達の家を空気を吸うことには意味があったと思います。



そんな家庭訪問をしていた頃の僕です。この写真は五中の体育祭。

卓朗(左)と満ちゃんが赤団なので、五中の7期生の時だと思います。

この中の生徒に隆がいて……家庭訪問でお風呂に入れられたのは、後にも先にもその時だけでした。汗びっしょりで嬉しかったですけどね。それにしても僕の短パンが短いですね(笑)卓朗(左)も満ちゃんも元気かなあ。👤

